



11/16(土)秋の防災訓練実施シナリオ

自主防災対策本部

<臨時>

ニュース

2024年11月9日発行

午前9時、震度5強の大きな地震が発生し、停電が起きている状態を想定

9:00

<放送>

これは防災訓練放送です。繰り返します。これは防災訓練放送です。(※)

自治会防災対策本部からお知らせします。只今から秋の防災訓練を開始します。事前にお配りしています、訓練実施シナリオをお手元に準備してください…

9:02

<放送>(※繰り返し)

只今大きな地震が発生しました。家族の安全を確認し、次の行動をしてください。

- ・コンロやストーブを使っていたら、一旦火を完全に止めてください。
- ・ガスホース接続部の緩みがないかチェックしてください。
- ・洗濯など水を使っていたら、止めるとともに、蛇口を締めてください。また接続部の緩みがないかチェックしてください。
- ・ドライヤーやこたつなどの電気器具を一旦止めて、コンセントから抜いてください。

全家庭内で行動します

防災訓練の開始案内放送がされたら、この臨時ニュースを用意し、防災訓練の準備をします。

以降、放送に合わせ家庭内では実際に行動、または模擬的な行動を行い、必要な行動の確認をしてください。行動または確認ができれば、□欄にチェックを入れてください。

□このシナリオと筆記具を手元に準備

火災・水漏れの点検・防止作業(約5分)

揺れが治ったら、火災や水漏れ・ガス漏れが起きないように点検・処置します。

- 家族の安全を確認
- ガス器具のスイッチを切り、元栓を閉め
ガスホースの接続部の緩みがないかを点検・締め直し
- 洗濯機など水を使っている器具を止め、
蛇口を閉め緩みをチェック
- 暖房器具やドライヤーなどの電気器具の
スイッチを切り、コンセントから抜いて
ください。



9:07

<放送>(**※繰り返し**)

今後の地震に備え、次の行動をしてください。

- ・ドアや窓を開けて逃げ道を確保してください。
- ・地震が来ても安全な場所を確保してください。
- ・動きやすく、すぐに避難できる服装・履き物に着替えてください。
- ・乾電池式のラジオなど、停電でも情報収集ができる機材を起動してください。

9:12

<放送>(**※繰り返し**)

現在停電しています。そのため水道も使えません。すぐの復旧は見込めない状況です。停電の長期化に備え次の準備をしてください。

- ・懐中電灯、乾電池など灯りに必要な器具をすぐに使える状態にします。
- ・スマートホンの電池切れ対策として予備バッテリーを準備します。
- ・トイレが使えません。簡易トイレなどを使えるように準備します。
- ・1週間、自宅で避難生活ができる準備ができているか、水や食料をはじめとした災害時用の備蓄を確認します

次の揺れや火災に備える(約5分)

想定される次の揺れに備えます。

- ☐ ドアや窓を開けて逃げ道を確保しておきます。出口までの通路を塞ぐものをどけ、また次の揺れで塞がれないようにします。
- ☐ 次の地震が来ても安全な場所を確保します。
- ☐ 動きやすく、すぐに避難できる服装・履き物に着替えます。
- ☐ 停電時でも使えるラジオをつけてください。

停電時は水道が使えません

マンション内各戸への給水は貯水槽から給水ポンプにより送水されています。そのため、停電時には給水できません。



停電や断水の長期化に備える(約8分)

- ☐ 懐中電灯などの灯りと予備電池の準備
- ☐ 携帯電話やスマートホンの充電と予備バッテリーの準備
- ☐ 災害用備蓄品の簡易トイレを準備します

日用品を少し多めに..

日頃からいつも使う日用品を少し多めにストックしておくことも、災害用備蓄です。備蓄品として別の場所に用意するのではなく、日頃使う場所に少し多めに確保します。

ゴミ袋(複数の大きさで)、ティッシュペーパーやトイレットペーパー、ラップやアルミホイル、食品保存袋、乾電池etc..

停電時はガスも一部は使えません

大きな地震が発生した場合は、ガス遮断メーターが自動的にガスを遮断します。ガスの復帰後も電源を必要とする給湯器やファンヒーターなどは当然使えません。使用可能な機器を使う場合は、換気に注意しながら使用します。

9:20

<放送> (※繰り返し)

大きな災害時には、隣近所での協力が欠かせません。お互いの安否確認と今後の避難に備え、共有部の安全確認をします。

- ・両隣の安否確認をします。玄関ドアを開け、廊下に出てお互いに安否を確認します。
- ・エレベータ近くの方は、エレベータ内に閉じ込められている人がいないか確認してください。
- ・外部への避難が必要になる場合があります。共用廊下・ベランダに危険がないかチェックしてください。

9:25

<放送> (※繰り返し)

災害対策本部からご案内します。只今から全戸の一斉安否確認を実施します

- ・安否確認マグネットシートを玄関ドアに貼り出してください。

9:28

<放送> (※繰り返し)

- ・只今をもちまして、災害発生時の自宅内での訓練を終了します。
- ・引き続き、集会室での災害対策本部設置訓練及び初動訓練を行います。集会室にお集まりください。
- ・自宅内での訓練をこれで終了します。ご協力ありがとうございました。

共助活動の開始(約5分)

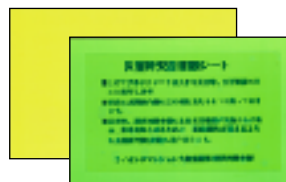
- 隣近所の安否確認をします。(本日は外廊下へ出るところまで)
- エレベータ閉じ込め者の有無を確認します。(エレベータ近くの方をお願いします。)
- 避難する際に利用する共用部に被害がないか確認します。(玄関ドア外側から廊下を、ベランダに出てそれぞれ目視確認)
- ・ベランダは非常時の通路として利用する場合があります。倒れたものがある場合などは、人が通れる状態に戻します。
- エレベータの利用を避け、階段を利用することを家族で確認します。
- ・停電で利用できません。復旧後も余震などにより利用中に停電になり閉じ込められる場合があります。



一斉安否確認(約3分)

マンション全戸を対象とした一斉の安否確認を実施します。

- 安否確認マグネットシートを玄関ドアに貼り出します
- ・災害対策本部での確認があります。防災訓練終了案内後に元の位置へ戻してください。



災害対策本部への参加

自宅の安全が確認されたら、可能な範囲で災害対策本部(集会室)への参加してください。

- 活動しやすい服装で集会室にお集まりください。
- ・自治会や管理組合の役員でなくても、災害対策本部へお集まりいただける方の協力が必要です。活動できる服装で参加をお願いします。

被害の写真を撮る！

災害で住まいが被害を受けたとき、やっておきたい重要なことがあります。家の被害状況を写真に撮っておくことです。市区町村から罹災証明書を取得して支援を受ける際や、損害保険を請求する際などに役に立ちます。



9:35

<司会・進行>

- ・これより集会室にて災害対策本部設置訓練を行います。
- ・予めお願いしている方に災害発生時からの作業をしてもらいます。その作業を見ながらながら流れを確認してください。
- ・司会から作業の指示があります。指示に基づき作業をしてください。
- ・集会室の共用鍵を利用して、集会室を開けます。共用鍵は防災対策本部員、自治会役員、管理組合理事などにあらかじめ案内しています。
- ・集会室が使える状態であることを確認します。
- ・机を出し、パイプ棚の災害時緊急ボックス1を開けます。
- ・内容物一覧で内容物を確認します。
- ・災害発生時マニュアルを使えるようにします。
- ・停電しています。電源の確保と夜間照明の準備をします。
- ・参加者受付表を設置します。
- ・数名が集まったところで、災害対策本部長を決めます。

9:42

<司会・進行>

- ・机を追加し、災害時緊急ボックス2を開けます。

災害対策本部設置(約7分)

初期集合者(数名)…予めお願いしています

- 災害時緊急ボックス1を開けます。
- ・災害発生時マニュアルを開きすぐ使えるようにします。
- ・災害発生時マニュアルを見ながら、集会室の安全を確認します。
- ・災害時緊急ボックス1の内容物を確認します。
- 停電時は電源の確保、夜間照明の準備をします。
- ・ポータブル電源の充電状態を確認します。
- ・カセットボンベ式発電機をすぐに使えるように、カセットボンベを準備します。
- ・ラジオ、ランタン、ライトをすぐに使えるように電池をセットします。



□参加者受付表の設置

- ・参加者受付表と筆記具を出し、受付を開始します。

参加者が増えます…その場からも数名参加します

□災害対策本部長任命

- ・災害対策本部長を決めます。(※今回の訓練では防災対策本部長を災害対策本部長として任命します)

※自治会長不在時は、管理組合理事長→自治会副会長→管理組合副理事長→防災対策本部員の順位を基本とし、各役員が到着次第順次繰り上がります。



参加者記入用紙

災害対策本部の初動(約7分)

- 災害時緊急ボックス2を開けます。
- ・内容物を確認します。



災害時用ボックス2

- ・集会室外での活動は必ず2名以上で行います。ヘルメットや手袋を着用します。
- ・臨時掲示板の設置準備をすすめます。ホワイトボードまたはホワイトボードシートを利用します。
- ・停電が続くようなら、共同水道の開栓をします。
- ・防災倉庫を開け、防災備品をえるように準備します。
- ・災害対策本部への参加を呼び掛けます。

9:49

<司会・進行>

- ・被害確認図面を準備し、被害確認を進めます。
- ・被害状況を写真撮ります。
- ・安否確認を進めます

9:57

<放送>(※繰り返し)

- ・只今をもちまして、本日の防災訓練を終了します。ご協力ありがとうございました。
- ・なお、一斉安否確認で玄関ドアに貼り出していただいたマグネットシートは元の位置にお戻してください。
- ・訓練内容等のご意見をお寄せください。



□災害時臨時掲示板の設置

- ・ホワイトボード及びロッカー横に立てかけてある臨時掲示板シートとホワイトボードマーカーをすぐに使えるように準備します。必要によってエントランスに掲示板シートを設置します。

□停電が続くようなら、共同水道の開栓をします。

- ・共同分電盤ドア内の共同水道栓を使用します。余裕ができたところで共同水道の開栓をハンドマイクで案内^{注)}します。

□防災備品倉庫開錠、必要な備品を集会室へ移動します。

- ・防災倉庫1、2、浄化槽機械室を開錠し、中の状態を確認します。必要によって防災備品を集会室に移動します。共用鍵は決められた位置に必ず戻します。

□災害対策本部設置及び対策本部への参加を案内

- ・ハンドマイクで災害対策本部への参加^{注)}を呼び掛けます。

被害確認、安否確認(約8分)

□マンション外周から火事の発生有無確認とエレベータに閉じ込められた人がいないかを確認します。

□被害確認のお願いを案内します。

- ・ハンドマイクで自宅内、被害確認のお願い^{注)}を案内します。

□敷地・建物の被害確認を行います。

- ・被害確認図面(被害確認側面図)を用意し、マンション外周からの目視による被害確認を行います。

□外階段、各階廊下、敷地内路面などの被害確認をすすめます。

- ・建物側面図、敷地内平面図、各階平面図を利用し、各階のエキスパンションジョイント部分、外階段と各階との接続部分など、歩行に危険がないか点検さらに貯水槽の水漏れがないか点検します。

□住民安否確認、避難行動要支援者安否確認を進めます。

- ・安否確認実施をハンドマイクで案内^{注)}します。
- ・避難行動要支援者名簿に基づく安否確認を実施します。

注)想定された原稿があります。